

画面で見るマニュアル

QwatchView の基本操作 (P.2) >

各メニューの操作 (P.13) >

カメラの登録・編集方法 (P.51) >

困ったときには (P.68) >

ご注意

4G LTE でご利用される方へ

ライブ映像の連続視聴により一か月のデータ量をご契約プランの規定量を超えると、通信速度低速化の制限を受ける場合があります。解像度を下げたり、Wi-Fi 接続でご利用になるなど、注意してご利用ください。

※ データの規定量についてはご利用の電気通信事業者との契約内容をご確認ください。

QwatchView の基本操作

メイン画面 (P.3) >

ライブ映像 (P.5) >

メニュー画面 (P.6) >

アカウントについて (P.8) >

アカウント変更 (P.12) >

メイン画面



①	メニュー	「メニュー画面」 P.6 参照
②	編集	カメラの登録や登録内容の変更がおこなえます。 「カメラの登録・編集方法」 P.51 参照
③		タップするとライブ映像を表示します。 「ライブ映像」 P.5 参照
④		カメラ名、ユーザー権限、使用可能な機能を表示します。
⑤		タップすると、現在の画面のマニュアルを表示します。

カメラの複数表示や拡大表示をする場合

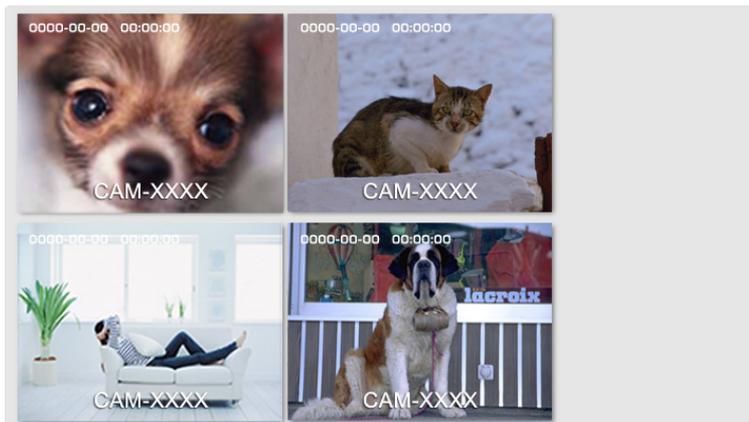
端末を横にすると、カメラの複数表示や拡大表示がおこなえます。

▼複数表示

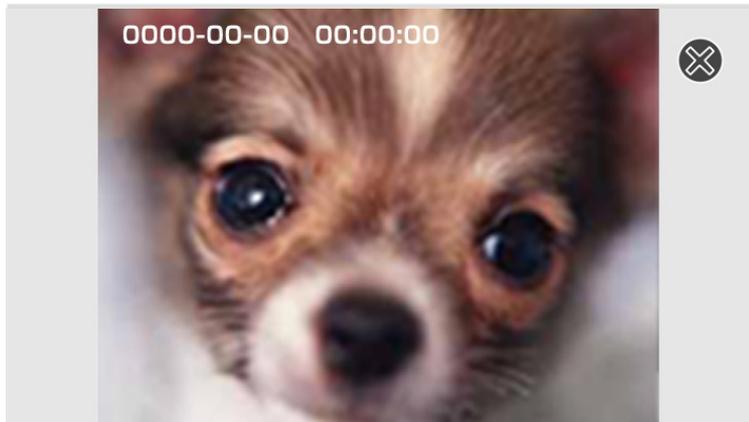
登録済みのカメラの映像を 1 画面に複数台ずつまとめて表示します。

※ カメラの映像をタップすると、そのカメラの映像を 1 画面で表示します。

※ 複数台カメラを登録している場合、画面を左右にスワイプすると、次のカメラ映像を表示します。



▼拡大表示



ライブ映像

ライブ映像の視聴や録画等の各機能の操作がおこなえます。



①	カメラ	メイン画面に戻ります。 ※ iOS のみ表示。Android の場合は、端末の戻るボタンを押して、戻ります。
②	カメラ名	カメラの名前を表示します。
③		現在のアカウントのユーザー権限を表示します。タップすると、アカウントの変更がおこなえます。
④		ライブ映像を表示します。
⑤	メニュー	メニューを左右にスワイプして選択します。選択したメニューの操作ボタンが下に表示されます。 「各メニューの操作」 P.13 参照 ※ ユーザー権限およびご利用のカメラにより操作できる機能は異なります。操作できない機能はグレー表示になります。各カメラの対応機能については、 「▼カメラ別 QwatchView 対応機能」 P.10 をご覧ください。
⑥	設定画面を開く	選択したメニューに関する設定画面をライブ画面下を開きます。 ※ 管理者権限でのみ利用できます。

メニュー画面

アプリ全体の設定やネットワーク環境のチェックなどがおこなえます。



①	メイン画面に戻る	メイン画面に戻ります。	
②	自動ロックまたはスリープ	する	QwatchView 起動中に何も操作しなかった場合、スマートフォン等の自動ロック機能またはスリープ機能は動作します。
		しない	QwatchView 起動中はスマートフォン等の自動ロック機能またはスリープ機能は動作しません。
③	音声再生	する	カメラ映像の音を再生します。
		しない	カメラ映像の音をミュート(消音)します。
④	ネットワークチェック	自宅に設置したカメラに外出先からアクセスできるかどうかを、自動で診断します。(P.7 参照)	

⑤	画面で見るマニュアル	本マニュアルを開きます。
⑥	サポートページ	カメラの製品ページを開きます。
⑦	ライセンス	QwatchViewのライセンス情報を表示します。
⑧	バージョン	QwatchView のバージョンを表示します。

「ネットワークチェック」機能とは

外出先からカメラにアクセスできるかどうかを診断する機能です。カメラを接続する予定の無線 LAN ルーターに、スマートフォンやタブレットを Wi-Fi 接続して、診断を開始します。ご利用のネット環境に問題が見つかった場合は、画面の案内にしたがって環境を設定してください。

▼ 診断開始をタップ

ネットワークチェック

自宅に設置した商品がインターネットを經由して外出先からアクセス可能かを診断します。

商品を設置する予定の無線LANに、この端末を接続した上で診断をはじめてください。

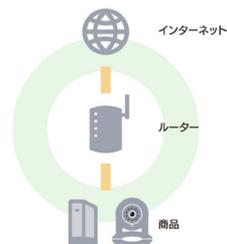
IPアドレスを取得して診断をおこないます。予めご了承ください。
診断結果により、おすすめ商品をご紹介しますことがありますが、個人情報と関連付けするなど、目的以外での利用はおりません。

診断

数十秒待つ

▼ 診断結果

ネットワークチェック



お客様のネット環境でご利用可能です。

宅外からのアクセスも可能です。
接続中のルーターは、 です。
おすすめ商品は[コチラ](#)をご覧ください。

※ IP アドレスを取得して診断します。あらかじめご了承ください。診断結果によりおすすめ商品などをご紹介しますことがありますが、個人情報と関連付けするなど、目的以外での利用はいたしません。

アカウントについて

カメラは出荷時状態で管理者権限のアカウントが1つと、ユーザー権限のアカウントが1つ設定されています。ご利用のカメラにより、設定されているアカウントおよび操作できる機能は異なります。セキュリティ上、ご利用用途にあわせて管理者が使い分けしてください。

例えば…



例えば…



▼ユーザー権限と概要

カメラには管理者権限とユーザー権限のアカウントがあります。用途にあったユーザー権限のアカウントを使用してください。

ユーザー権限	ご利用用途	ユーザー名	パスワード
管理者	カメラの管理者が利用します。すべての操作、設定がおこなえます。	admin	カメラの MAC アドレス (出荷時設定) ※ 1)
ユーザー (共有ユーザー) (※ 2、3、4)	管理者が用途にあわせて使用制限を設定・編集できます。 ※ 5) 主に機能や期間を限定してカメラ映像を公開したい場合に利用します。	※ 出荷時に設定されているアカウント ▽ TS-WPTCAM の場合 IO-WPTCAM ▽ TS-PTCAM の場合 IO-PTCAM ▽ TS-WLCAM の場合 IO-WLCAM ▽ 上記以外カメラの場合 IO-CAM	カメラに添付のシートに記載 (TS-WLCE、TS-WRLC の場合、設定されていますが、確認することはできません)

※ 1 TS-WRLC ではセキュリティーのため、初めてカメラ映像を表示する時にパスワードの変更が必要です。

※ 2 [「▼カメラ別 QwatchView 対応機能」 P.10 参照](#)

※ 3 オペレーター権限、ゲスト権限は QwatchView のバージョンアップにより「ユーザー権限」と表示されます。

※ 4 TS-WLCAM の場合は、カメラの設定画面ではオペレーター権限またはゲスト権限と表示されます。

※ 5 TS-WLCAM を除く

▼カメラ別 QwatchView 対応機能

ご利用のカメラおよびユーザー権限によって操作できる機能(使用制限)は異なります。
QwatchView からカメラを視聴する場合、使用できない機能はグレー表示になります。

○…使用可能 ×…使用不可

カメラ型番	ユーザー権限	映像の視聴/全画面表示/ズーム	ライブ러리	録画	パントルト	モード	通話	共有	設定
TS-WPTCAM	管理者	○	○	○	○	○	×	○	○
	ユーザー (※ 1、9)	○	○	○	○ (※ 4)	○	×	○	×
TS-PTCAM	管理者	○	○	○	○	○	○ (※ 5)	○	○
	ユーザー (※ 1、9)	○	○	○	○ (※ 4)	○	×	○	×
TS-WLCAM	管理者	○	○ (※ 6)	○ (※ 6)	×	×	×	○	○
	ユーザー (※ 1,2)	○	×	○ (※ 3)	×	×	×	×	×
TS-WLC2	管理者	○	○	○	×	○ (※ 7)	○	○	○
	ユーザー (※ 1、9)	○	○	○	×	○ (※ 7)	×	○	×
TS-WLCE、 TS-WRLC	管理者	○	○ (※ 6)	○ (※ 6)	×	○ (※ 8)	×	○	○
	ユーザー (※ 9)	○	○ (※ 6)	○ (※ 6)	×	○ (※ 8)	×	○	×

- ※ 1 オペレーター権限、ゲスト権限は QwatchView のバージョンアップにより「ユーザー」と表示されます。
- ※ 2 TS-WLCAM の設定画面ではオペレーター権限またはゲスト権限と表示されます。
- ※ 3 静止画のローカル (スマートフォン等) への保存のみおこなえます。
- ※ 4 プリセット設定をおこなう場合は管理者でおこなってください。
- ※ 5 カメラに別途スピーカーを接続する必要があります。
- ※ 6 SD カードは使用できません。
- ※ 7 プライバシー、暗視モードのみ使用できます。
- ※ 8 プライバシーモードのみ使用できます。
- ※ 9 " ○ " の機能は、管理者が[「設定 - アカウントの編集」 P.46](#) で使用可能 / 不可を変更することができます。

カメラ別の機能比較については詳しくは以下の URL をご覧ください。

<http://www.iodata.jp/product/fun/pickup/qwatch/>

アカウントの追加や削除、パスワードの変更等は、[「設定 - アカウントの編集」 P.46](#) からおこないます。

アカウント変更

視聴中にログインしているアカウントを変更することができます。

※ 共有ユーザーはアカウントを変更できません。

- ① 画面右上のユーザー権限をタップ
- ② [ユーザー名]と[パスワード]を変更する内容に入力
- ③ [完了]または[変更]をタップ



ユーザー名	[admin]またはカメラで登録しているアカウントのユーザー名を入力します。『 アカウントについて 』P.8 参照)
パスワード	上記[ユーザー名]に設定しているパスワードを入力します。 ※ ユーザー名が[admin]の場合、出荷時設定はカメラのMACアドレス(12桁)を入力します。カメラ背面のシール上に記載しています。(大文字、半角英数字で入力)

元の画面に戻ります。以上で変更は完了です。

各メニューの操作

ライブラリ (P.14) >

録画 (P.16) >

パンチルト (P.24) >

モード (P.26) >

パトロール / プライバシー / 暗視

通話 (P.35) >

共有 (P.36) >

設定 (P.45) >

IP カメラの設定画面を開きます / アカウントの編集

ご利用のカメラおよびアカウントにより、操作できる機能は異なります。操作できない機能はグレー表示になります。[\[▼カメラ別 QwatchView 対応機能\] P.10 参照](#)

SD カードや LAN DISK に保存したファイルを確認し、表示 / 再生することができます。

- ① [ライブラリ] をタップ
- ② ファイルの保存先をタップ



disk	完了
IPCamera_Event	>
IPCamera_Manual	>
IPCamera_Record	>
IPCamera_Schedule	>

※ ご利用のカメラにより表示されるフォルダーは異なります。

IPCamera_Event	動作検知機能によって撮影したファイルを表示します。
IPCamera_Manual	手動で撮影したファイルを表示します。
IPCamera_Record	「TS-WLCAM」で撮影したファイルを表示します。
IPCamera_Schedule	スケジュール機能によって撮影したファイルを表示します。

※ 外出先からは、LAN DISK に保存したファイルの表示 / 再生はできません (LAN DISK とスマートフォン等が同じネットワークに接続している場合のみ表示 / 再生できます)。

※ iOS で LAN DISK に録画したファイルを再生する場合、別途アプリのインストールが必要です。(次ページ「参考」参照)

iOS 端末で LAN DISK に保存したファイルを再生する場合 「QrecView」をインストールし、ご利用ください。



- ① [LAN DISK] をタップ
- ② [OK] をタップ
⇒ App Store が開きます。
- ③ 「QrecView」をインストールする
⇒インストール後、再度 QwatchView を開きます。
- ④ [LAN DISK] をタップ
- ⑤ 再生するファイルのあるフォルダーを開き、ファイルを再生する
- ⑥ 再生後、「QwatchView」に戻る場合は、[完了]をタップ
- ⑦ [QwatchView に戻る]をタップ



静止画や動画を撮影し SD カードや LAN DISK に保存する場合、事前に保存先の設定をおこないます。

※ ローカル (スマートフォン等) に保存する場合は、以下の設定は不要です。

[「2. 撮影する」 P.23](#) へお進みください。

※ TS-WLCAM、TS-WLCE、TS-WRLC のカメラをご利用の場合は SD カードを利用できません。

[「LAN DISK に保存する場合」 P.18](#) へお進みください。

- ① [録画] をタップ
- ② 右下の  をタップ
- ③ [保存先設定] をタップ



- ④ 保存先を選択
- ⑤ [設定]をタップ
- ⑥ [戻る]をタップ



LAN DISK に保存する場合はこちら
(P.18)

SD カードに保存する場合はこちら
(P.21)

LAN DISK に保存する場合

⑦ [LAN DISK 保存設定] を
タップ

⑧ 各項目を設定し、
[設定] をタップ

※ 各項目の詳細は[次ページ参照](#)

⑨ [完了] をタップ



※ 製品により「LAN DISK」を「NAS」と表示している場合があります。



⇒ 以上で設定は完了です。次に「[2. 撮影する](#)」 P.23 へ進みます。

■ LAN DISK 保存設定※¹

ステータス	LAN DISK の状態を表示します。									
	非接続	LAN DISK にファイルを保存できない状態です。LAN DISK が非接続または未設定または設定内容が間違っています。								
	接続	LAN DISK にファイルを保存できる状態です。								
保存場所	<p>保存先 LAN DISK の IP アドレスとフォルダー名を入力します。 (\\ \ IP アドレス \ 共有フォルダー名 \ (フォルダー名)) ※ サブフォルダーを使用しない場合、3 番目を空欄にしてください。 ※ フォルダーおよびファイルを含めたフルパスで 256 文字まで入力できます。 ※ 保存先フォルダー名は半角英数字で指定します。</p> <p>例) 以下の場所を保存先に指定する場合、 [\\ \ 192.168.0.200 \ disk \ camera] と入力します。</p> <p style="text-align: center;"> IPアドレス 共有フォルダー フォルダー </p> <p>※ [保存場所] に設定したフォルダーの下に、以下のフォルダーが追加されます。また、以下のフォルダーの下に各カメラ名のフォルダーがそれぞれ追加されます。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">IPCamera _Event</td> <td>動作検知機能で撮影したファイルが保存されます。</td> </tr> <tr> <td>IPCamera _Manual</td> <td>手動で撮影したファイルが保存されます。</td> </tr> <tr> <td>IPCamera _Record</td> <td>[TS-WLCAM] で撮影したファイルが保存されます。 [TS-WLCAM] 以外のカメラでは、本フォルダーは作成されません。</td> </tr> <tr> <td>IPCamera _Schedule</td> <td>スケジュール機能で撮影したファイルが保存されます。</td> </tr> </table>		IPCamera _Event	動作検知機能で撮影したファイルが保存されます。	IPCamera _Manual	手動で撮影したファイルが保存されます。	IPCamera _Record	[TS-WLCAM] で撮影したファイルが保存されます。 [TS-WLCAM] 以外のカメラでは、本フォルダーは作成されません。	IPCamera _Schedule	スケジュール機能で撮影したファイルが保存されます。
	IPCamera _Event	動作検知機能で撮影したファイルが保存されます。								
IPCamera _Manual	手動で撮影したファイルが保存されます。									
IPCamera _Record	[TS-WLCAM] で撮影したファイルが保存されます。 [TS-WLCAM] 以外のカメラでは、本フォルダーは作成されません。									
IPCamera _Schedule	スケジュール機能で撮影したファイルが保存されます。									
録画容量不足の通知	<p>有効にすると、録画容量が足りなくなった場合にメールでお知らせします。 ※ メール設定はカメラの設定画面の [基本設定] → [メール設定] でおこないます。</p>									
録画の自動停止時間	<p>選択した時間が経過すると自動的に録画を停止します。[指定なし] を選択すると、録画停止ボタンをタップするまで録画を続けます。</p>									

連続録画※ ²	有効にすると、連続で録画します。 ※ 容量が足りなくなった場合、古い録画ファイルを消して(上書きして)、録画を続けます。	
1ファイル当たりの最大サイズ	1 ファイルに保存できる最大のファイルサイズを選択します。	
LAN DISK への最大保存サイズ※ ²	[保存場所]に設定したフォルダーの階層下にある、カメラ名のフォルダーに録画できるファイル容量を制限する設定です。1 台の LAN DISK に対して複数のカメラで録画をおこなう場合に設定します。LAN DISK の容量を超えないように設定してください。 (例)カメラ名が「CAM-12345」で、10GB に設定した場合(TS-WLCAM 以外の場合) 「IPCamera_Event\CAM-12345」「IPCamera_Manual\CAM-12345」 「IPCamera_Schedule\CAM-12345」の各フォルダーそれぞれに 10G バイトまで保存できます(合計 30G バイトまで保存できます)。	
アクセス制限	制限あり	制限なし / 制限ありを選択します。 保存先 LAN DISK の共有フォルダーにアクセス制限を設定されている場合に選択します。LAN DISK に登録したユーザー名とパスワードを設定します。
	制限なし	保存先 LAN DISK の共有フォルダーにアクセス制限を設定していない場合に選択します。
ユーザー名	上記、アクセス制限を[制限あり]にした場合、LAN DISK に登録したユーザー名とパスワードを入力し、設定します。	
パスワード		

※ 1 製品により「LAN DISK」を「NAS」と表示している場合があります。

※ 2 製品により本項目は表示されません。

SD カードに保存する場合

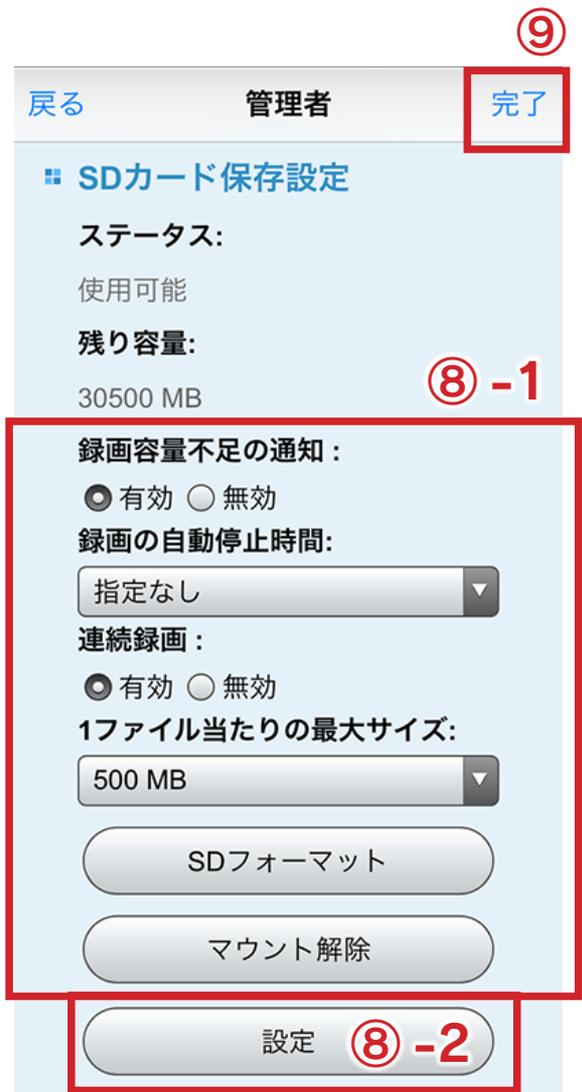
※ TS-WLCAM、TS-WLCE、TS-WRLC のカメラをご利用の場合は SD カードを利用できません。

⑦ [SD カード保存設定] をタップ

⑧ 各項目を設定し、[設定] をタップ

※ 各項目の詳細は[次ページ参照](#)

⑨ [完了] をタップ



⇒ 以上で設定は完了です。次に[「2. 撮影する」 P.23](#)へ進みます。

■ SD カード保存設定

ステータス	SD カードの状態を表示します。	
	SD カードが挿入されていません。	SD カードが取り付けられていないか、保存できない状態です。
	使用可能	SD カードにファイルを保存できる状態です。
残り容量	SD カードの空き容量を表示します。	
録画容量不足の通知	有効にすると、録画容量が足りなくなった場合に、メールでお知らせします。 ※ メール設定はカメラの設定画面の[基本設定]→[メール設定]でおこないます。	
録画の自動停止時間	選択した時間が経過すると自動的に録画を停止します。 [指定なし]を選択すると、録画停止ボタンをタップするまで録画を続けます。	
連続録画	有効にすると、連続で録画します。 ※ 容量が足りなくなった場合、古い録画ファイルを消して(上書きして)、録画を続けます。	
1 ファイル当たりの最大サイズ	1 ファイルに保存できる最大のファイルサイズを選択します。	
SD フォーマット	タップすると、SD カードを初期化します。 ※ 初期化すると SD カード内のデータがすべて消えてしまいます。SD カード内に保存された重要なデータについては、必ず定期的にバックアップをおこなってください。接続製品の保存データの毀損・消失などについて、弊社は一切の責任を負いません。 (バックアップとは保存したデータを守るために、HDD・BD・DVD などの記憶媒体にデータの複製を作成することです。データを移動させることはバックアップではありません。)	
マウント解除	タップすると、カメラの電源が入っている状態でもSDカードを取り外せます。 ※ SD カードをマウント解除せずに抜くと、保存データの毀損・消失や故障の原因となります。保存データの毀損・消失などについて、弊社は一切の責任を負いません。	

静止画や動画を撮影し、ローカル(スマートフォン等)またはSDカード、LAN DISKに保存します。



① [録画]をタップ

② [ローカル]をタップして保存先を選択

※ SDカードおよびLAN DISKは保存先に設定している場合のみ表示されます。

③ 静止画⇔動画をタップして選択

④ 撮影したいタイミングで◎をタップ

⑤ 動画の場合のみ、撮影を終了したいタイミングでもう一度◎をタップ

※ ローカル(スマートフォン等)には静止画のみ保存可能です。

※ ユーザーおよびゲスト権限のアカウントでは、静止画のローカル(スマートフォン等)への保存のみおこなえます。

※ 「録画の自動停止時間」を設定している場合、指定した時間が経過すると自動で録画が停止します。すぐに録画を停止する場合は◎アイコンをタップしてください。

以上で撮影は完了です。保存したファイルは「[ライブラリ](#)」 P.14 から確認できます。

カメラを左右・上下に動かすことができます。



① [パンチルト]をタップ

② ^ v < > をタップ

※ 中央(●)を押すと、ホームポジションに戻ります(出荷時設定の場合、カメラがまっすぐ正面の向きに戻ります)。

※ 視聴中、録画中にパンチルトをおこなうと、カメラの駆動音が収録されますのでご注意ください。

※ プリセットを登録している場合、1～4のアイコンをタップすると、設定してある向きにカメラを動かすことができます。

(次ページ【参考：カメラの方向を登録する方法(プリセット設定)】参照)

カメラの方向を登録する方法(プリセット設定)

あらかじめカメラの方向を登録しておく、パンチルトする場合やパトロールモードを利用する場合に便利です。

※ プリセット設定は管理者のみ設定できます。



- ① [パンチルト]をタップ
- ② 右下の ⚙️ をタップ
- ③ [プリセット設定]をタップ
- ④ パンチルト操作ボタンをタップし、設定したい方向にカメラの向きを変更する
- ⑤ プリセット番号を選択
- ⑥ [設定]をタップ
- ⑦ [完了]をタップ



※ プリセットは4つまで登録できます。

手順③～⑦までを繰り返して登録してください。

1. 準備する

設定した範囲を、設定したスケジュールで確認することができます。はじめに「プリセット設定」でカメラの方向を登録し、「パトロール設定」でスケジュール等を設定します。

※ プリセット設定およびパトロール設定は、管理者のみ設定できます。

- ① [パンチルト]をタップ
- ② 右下の  をタップ
- ③ [プリセット設定]をタップ



- ④ パンチルト操作ボタンをタップし、設定したい方向にカメラの向きを変更する
- ⑤ プリセット番号を選択
- ⑥ [設定]をタップ
- ⑦ [戻る]をタップ



※ プリセットは4つまで登録できます。
手順③～⑦までを繰り返して登録してください。

⑧ [パトロール設定]を
タップ

⑨ 各項目を設定

⑩ [設定]をタップ

⑪ [完了]をタップ



パトロール設定	
パトロールモード	有効 / 無効を選択します。
スケジュール機能	有効 / 無効を選択します。
パトロール時間	スケジュール機能を[有効]にした場合、パトロールする時間帯を設定します。 ※ スケジュールの開始と終了は、3分以上に設定してください。 ※ 開始時間と終了時間を同じ時間に設定することはできません。
パトロール範囲	パトロールする範囲を設定します。 「プリセット設定」で設定した向きを選択します。 ※ 4つまで範囲を設定できます。
プリセット位置での停止時間	プリセット設定した位置で停止する時間を設定します。 ※ 10 秒以上に設定してください。

以上でパトロールの設定は完了です。

[次ページ「2. 利用する」](#)へ進みます。

2. 利用する

① [モード]をタップ

② [パトロール]をタップ

⇒ パトロールを開始します。

もう一度[パトロール]をタップすると停止します。



※ スケジュール機能が[有効]になっている場合は、設定したパトロール時間になると自動的にパトロールをおこないます。

1. 準備する

カメラの映像を公開したくない場合に使用します。

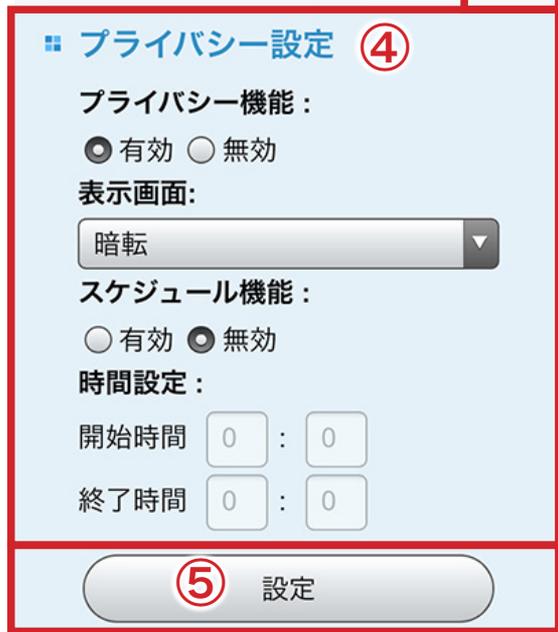
- ① [モード]をタップ
- ② 右下の  をタップ
- ③ [プライバシー設定]をタップ



- ④ 各項目を設定
- ⑤ [設定]をタップ
- ⑥ [完了]をタップ



プライバシー設定	
プライバシー機能	[有効]を選択します。
表示設定	[暗転]のみ選択できます。
スケジュール機能	スケジュールを設定する場合は、[有効]を選択し、[開始時間][終了時間]を設定します。



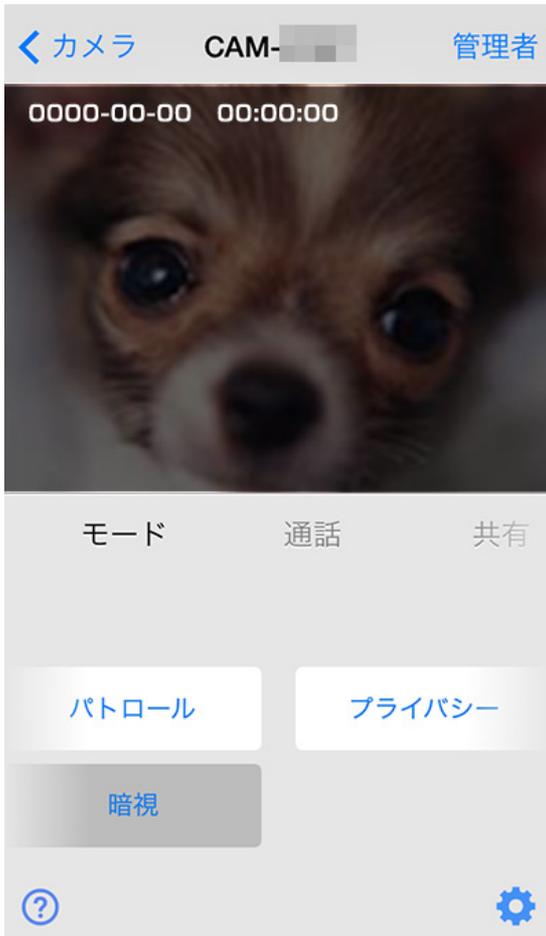
⇒ 以上で設定は完了です。
[次ページ「2. 利用する」](#)へ進みます。

2. 利用する

- ① [モード]をタップ
- ② [プライバシー]をタップ
- ③ もう一度[プライバシー]をタップするとカメラ映像に戻る



暗闇の中、約 5m 先の映像まで表示ができます。
暗視モードへの自動切り替え機能が[有効] (出荷時設定)になっている場合は、周りの明るさを感知し、自動的に暗視モードに切り替わります。



- ※ [暗視]をタップすると、カメラの自動切り替え機能の[有効]⇔[無効]を切り替えます。
- ※ 自動切り替え機能が[有効]になっていても、カメラの周りが明るい場合は暗視モードに切り替わりません。

スマートフォン等に向かって話しかけた音声をカメラのスピーカーから出力することができます。

※ カメラにオーディオ端子がある場合は、オーディオ端子にスピーカーを接続してください。詳しくはカメラの「画面で見るマニュアル」をご参照ください。

① [通話] をタップ



※ 「QwatchView がマイクへのアクセスを求めています」のメッセージが表示された場合は [OK] をタップします。

② [] アイコンを押しながらかスマートフォン等に話しかける
⇒ カメラのスピーカーから声が出ます。

※ 通話中、カメラ側の音は聞こえません。通話を終了すると、カメラ側の音がスマートフォン等のスピーカーから聞こえます。



③ 通話を終了する場合、
[] アイコンから手を離す

家族や知人とカメラを共有する場合に便利です。本手順で作成した QR コードや登録用 URL を送ることで、他の端末で簡単にカメラを登録、共有することができます。

- ・ 視聴期間や使用する機能を限定してカメラ映像を公開することができます。
⇒ お店の様子やイベント会場等のリアルタイム配信に利用できます。
- ・ メール等で登録用 URL を送ることができます。
⇒ 遠隔地にいる家族や知人でもカメラを登録できます（添付のシートを見せなくても登録ができます）。
- ・ 本手順で登録したカメラは共有ユーザー権限になります。
⇒ 用途にあわせ、ユーザーごとに操作できる機能（使用制限）を設定できます。

※ 共有ユーザー権限で登録したカメラは他のアカウントに変更できません。

1. ユーザーアカウントの追加 / 編集をおこなう

用途にあわせ、アカウントごとに操作できる機能(使用制限)を設定することができます。

初期設定から変更する場合やアカウントを追加する場合は、[「設定 - アカウントの編集」 P.46](#) を参照し、設定してください。

※ ユーザー権限のアカウントで操作できる機能の初期設定については、[「▼カメラ別 QwatchView 対応機能」 P.10](#) をご覧ください。

※ TS-WLCAM の場合は、ユーザー権限(オペレーター権限)とゲスト権限で使用できる機能が決まっており、変更はできません。アカウントの追加のみおこなえます。

⇒ ユーザーアカウントの追加 / 編集が完了したら、[「2.QR コードを作成する」 P.38](#) に進みます。

2.QRコードを作成する

① [共有]→[このカメラを共有する]の順にタップ



- ② TS-WLCAM 以外の場合は、共有するアカウントを選択
(TS-WLCAM の場合は、手順③へ進む)
- ③ 視聴期間を選択
- ④ [作成] をタップ



※ [アカウントの編集] をタップすると、アカウントの追加や編集がおこなえます。
([「設定 - アカウントの編集」 P.46 参照](#))



⑤ 共有ボタン(や)をタップ

※ ここでは「メッセージ」アプリで送る場合の手順例を説明しています。

※ 表示されたアプリでもカメラ登録用の URL を利用者に送ることができます。

▼ iOSの場合



▼ Androidの場合



⑥ 「メッセージ」アプリを選択

⑦ 宛先を選択し、送信する



⇒ 以上で QR コードの作成は完了です。

[「3. カメラを登録する」 P.42](#) に進みます。

3. カメラを登録する

受け取った URL で利用者がカメラを登録する手順を説明します。

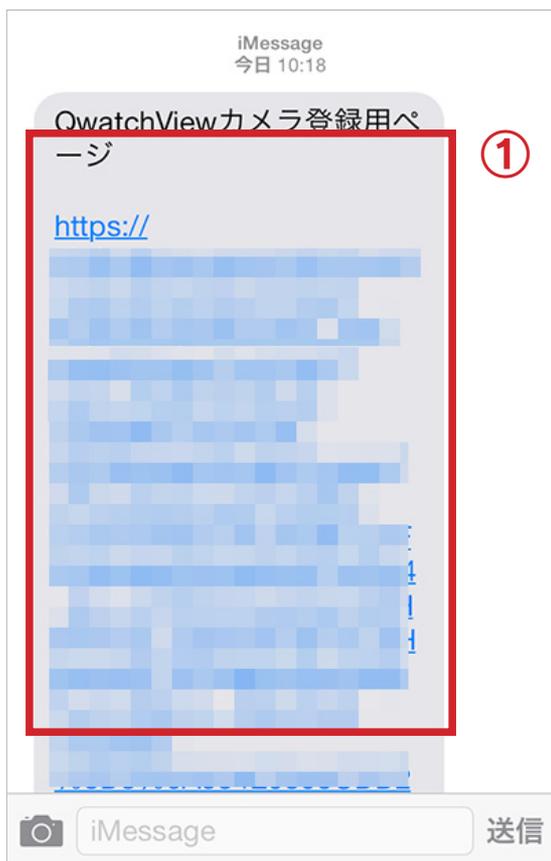
※ 本手順でカメラを登録すると、ユーザー権限は「共有ユーザー」になります。

TS-WLCAM の場合、使用できる機能は「ユーザー」と同じです。[\(▼カメラ別 QwatchView 対応機能\] P.10 参照\)](#)

TS-WLCAM 以外の場合、[「1.QR コードを作成する」手順②](#)で選択したアカウントに設定している機能になります。

また、共有ユーザーで登録したカメラは他のアカウントに変更できません。

① 受け取ったメッセージを開き、表示されている URL をタップ



② [App Store]または[Google play]をタップし、QwatchView をインストールする

※ QwatchView をインストール済みの場合は、再インストールは不要です。

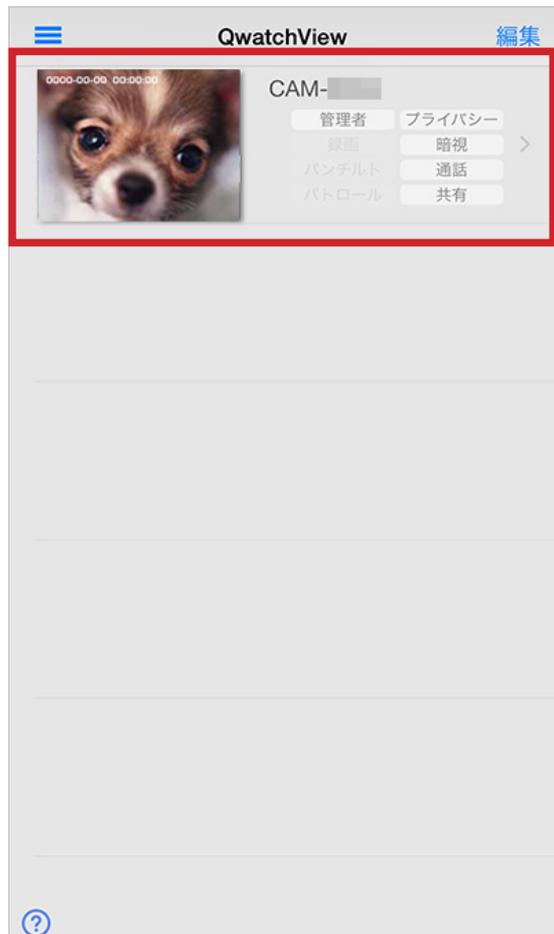
③ 再度 Web ブラウザーを起動し、手順②の画面を表示する

④ [カメラを登録する]をタップ

⑤ [OK]をタップ



⑥ 映像が表示されたことを確認し、映像をタップ



⑥

以上でカメラの登録は完了です。

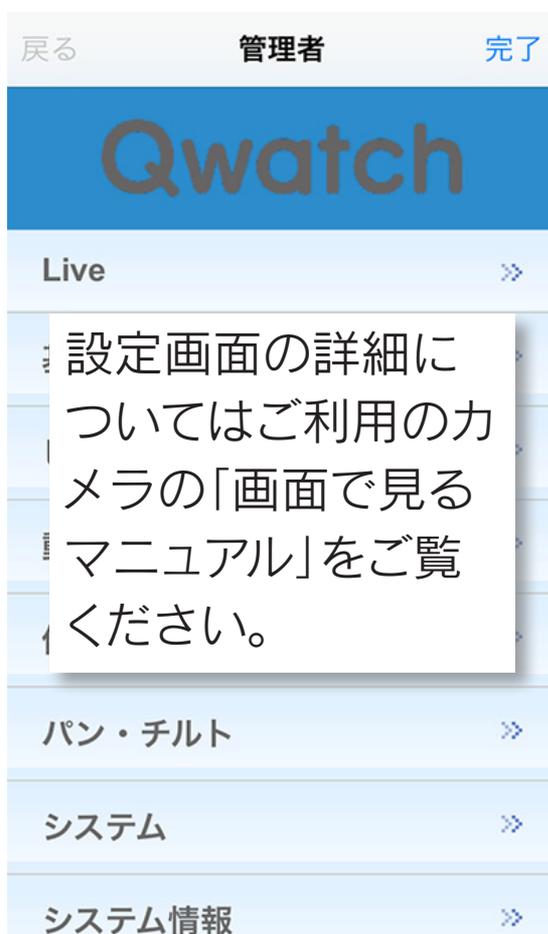
設定

-IPカメラの設定画面を開きます

(参考「▼カメラ別 QwatchView 対応機能」 P.10)

カメラの設定画面を開きます。カメラの詳細な設定がおこなえます。

- ① [設定]→[IPカメラの設定画面を開きます]の順に
タップ ※ ご利用のカメラにより表示されるメニューは異なります。



以上で設定画面は開けました。

※ カメラの「画面で見るマニュアル」は、以下の URL よりカメラを選択し、開きます。

<http://www.iodata.jp/product/mobile/lancam/>

ユーザー権限、ゲスト権限のアカウントの追加や編集がおこなえます。 ※ ご利用のカメラにより表示されるメニューや操作が異なります。

- ① [設定] → [アカウントの編集] の順にタップ
- ② ▷ TS-WLCAM 以外の場合は、操作するメニューをタップ
▷ TS-WLCAM の場合は、
[「■ ユーザー設定\(TS-WLCAM の場合\)」 P.50 参照](#)



② TS-WLCAM 以外の場合



② TS-WLCAM の場合 ⇒ [P.50 参照](#)

■ ユーザー設定 (TS-WLCAM 以外の場合)

[戻る](#) **アカウントの編集** [完了](#)

≡ **ユーザー設定**

ユーザーリスト:

ユーザーリスト	登録されているユーザー名を選択します。
追加	ユーザー権限のアカウントを追加登録します。
編集	ユーザーリストで選択したユーザーの名前とパスワードを変更します。
削除	ユーザーリストで選択したユーザーを削除します。

■ 権限設定 (TS-WLCAM 以外の場合)

戻る **アカウントの編集** 完了

■ 権限設定

ユーザーリスト:

IO-CAM ▼

- スナップショット/録画(ローカル、PCのみ)
- スナップショット/録画(LAN DISK)
- 全画面/ズーム(PCのみ)
- プライバシー
- 動作検知(PCのみ)
- カメラ共有(QRコード作成)
- ライブラリ管理

権限を変更する

ユーザーリスト	登録されているユーザー名を選択します。
スナップショット/録画(ローカル、PCのみ) ^{※1}	ローカルドライブへスナップショットの保存や映像の録画を許可します。
スナップショット/録画(LAN DISK)	LAN DISK へスナップショットの保存や映像の録画を許可します。
パン・チルト/プリセット/パンチルト反転	パン・チルトとプリセットの操作ができます。
全画面/ズーム(PCのみ) ^{※1、2}	全画面表示やズーム機能が使用できます。
プライバシー	プライバシー機能が使用できます。
動作検知(PCのみ) ^{※1}	パソコンで使用した際に動作検知機能のオン/オフがおこなえます。
カメラ共有(QRコード作成)	QwatchView で共有ユーザーのカメラ登録用 QRコードを作成できます。
ライブラリ管理	ライブラリメニューからSDカードやLAN DISK内のデータを確認することができます。
権限を変更する	許可する機能にチェックをつけ、[権限を変更する]をタップします。

※ 1 パソコンで使用する場合の設定です。

※ 2 QwatchView ではすべてのユーザー権限で使用できます。

※ カメラ別の対応機能については、[「▼カメラ別 QwatchView 対応機能」 P.10 参照](#)

■ 匿名ログイン設定 (TS-WLCAM 以外の場合)

[戻る](#) **アカウントの編集** [完了](#)

■ **匿名ログイン設定**

匿名でログイン:

有効 無効

匿名で
ログイン

有効 / 無効を選択します。有効にすると、パソコンからカメラにアクセスした場合にユーザー名やパスワードを入力せずにカメラの映像を見ることができます。

※ [有効]に設定した場合でも、QwatchViewでは無効になります。

■ ユーザー設定 (TS-WLCAM の場合)

戻る **アカウントの編集** 完了

≡ **ユーザー設定**

ユーザーリスト:

ユーザー名:

パスワード:

パスワード再入力:

ユーザー権限:
 オペレーター ゲスト

追加

編集

削除

匿名でログイン:
 有効 無効

設定

ユーザーリスト	登録されているユーザー名を選択します。
ユーザー名	追加登録もしくは変更する場合、新しいユーザー名を入力します。 ※ 半角英数字、1～63文字まで
パスワード	追加登録もしくは変更するユーザーのパスワードを入力します。 ※ 半角英数字、1～63文字まで
パスワード再入力	パスワードを再入力します。
ユーザー権限	ユーザー権限(オペレーターまたはゲスト)を選択します。 ※ オペレーター権限、ゲスト権限はQwatchView上では「ユーザー」と表示されます。
匿名でログイン	有効 / 無効を選択します。有効にすると、パソコンからカメラにアクセスした場合に、ユーザー名やパスワードを入力せずにカメラの映像を見ることができます。 ※ [有効]に設定した場合でも、QwatchViewでは無効になります。

カメラの登録・編集方法

QRコードで登録 (P.52) >

手動で登録 (P.56) >

カメラ名を選択して登録 (P.60) >

カメラの登録内容の変更 (P.64) >

カメラの削除 (P.66) >

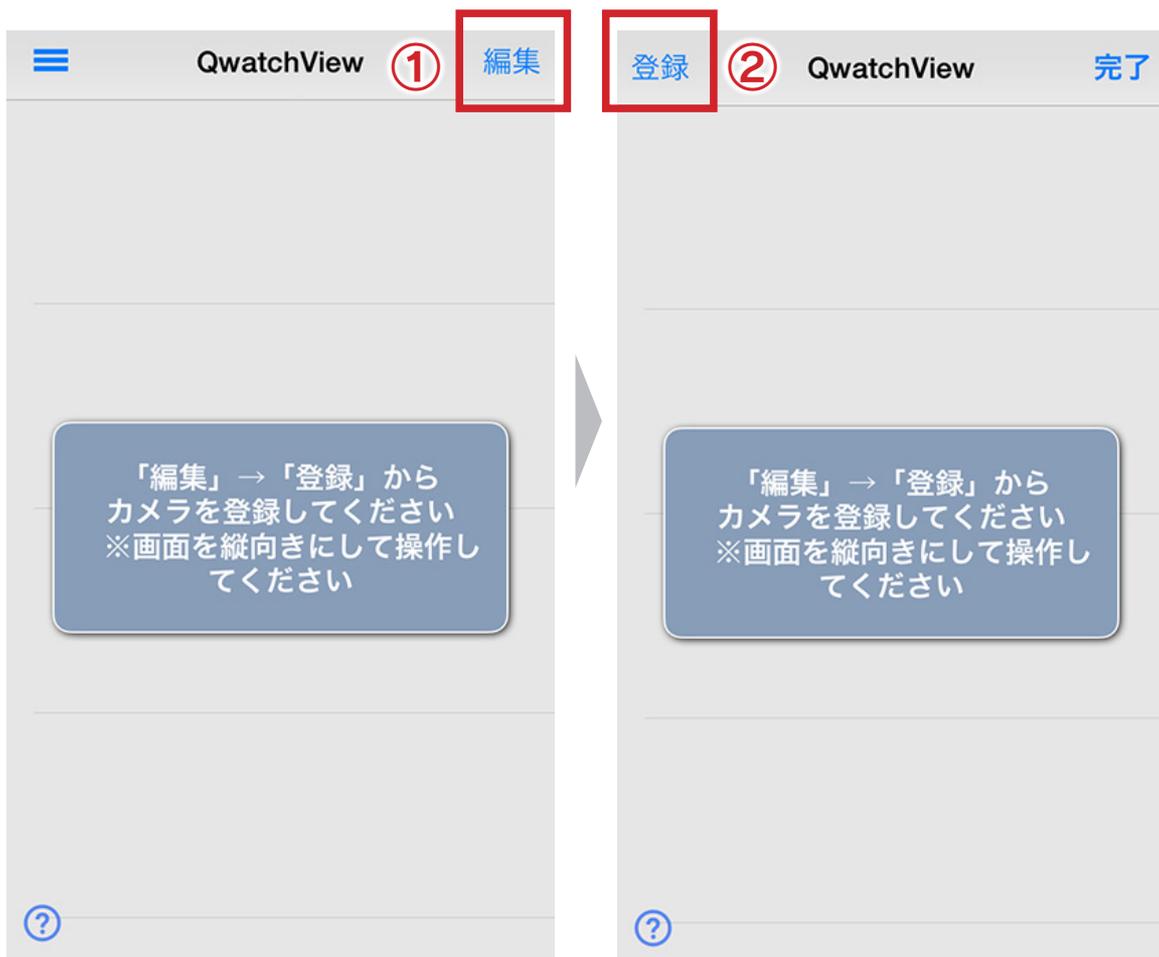
QR コードで登録

QR コードでカメラを登録する手順を説明します。

※ 添付のシート上の QR コードで登録すると、TS-WLCE、TS-WRLC の場合、管理者権限になります TS-WLCE、TS-WRLC 以外の場合、ユーザー権限で登録されます。

① [編集] をタップ

② [登録] をタップ



③ [QRコードで登録]をタップ

④ [読み取り開始]をタップ

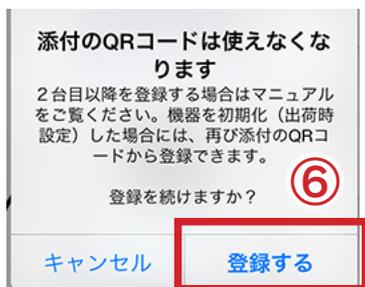


⑤ カメラに添付のシートに記載の QR コードを読み取り範囲内にかざして読み込む ※ シートはカメラにより異なります。

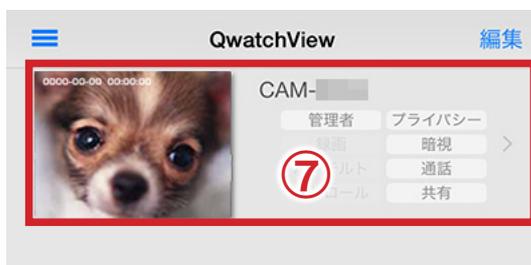


TS-WRLC 以外のカメラは、カメラの登録は完了です。
TS-WRLC の場合は、管理者パスワードを変更します。

⑥ [登録する]をタップ



⑦ カメラ名をタップ



⑧ [OK]をタップ

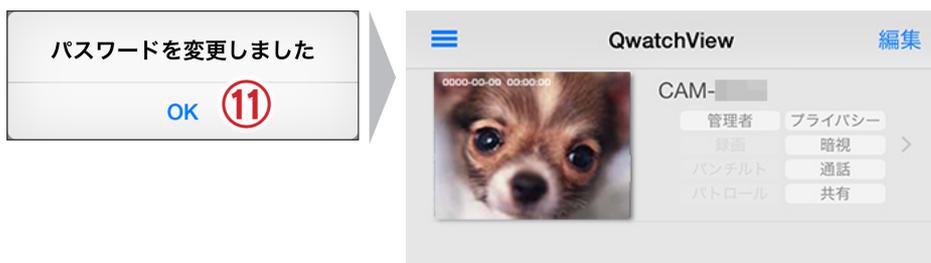
⑨ 新しい管理者パスワードを入力し、[確認]をタップ

⑩ パスワードを再入力し、[変更]をタップ

※ 半角英数字、1～63文字まで



⑪ [OK]をタップ



以上でカメラの登録は完了です。カメラ名をタップすると、映像が表示されます。

参考 TS-WRLC 以外の場合は、セキュリティのため、ご利用のアカウントのパスワードを出荷時設定から変更することをおすすめします

パスワードの変更方法は[カメラの「画面で見るマニュアル」](#)をご覧ください。また、パスワードを変更した後、[「カメラの登録内容の変更」P.64](#)で新しいパスワードに修正してください。

手動で登録

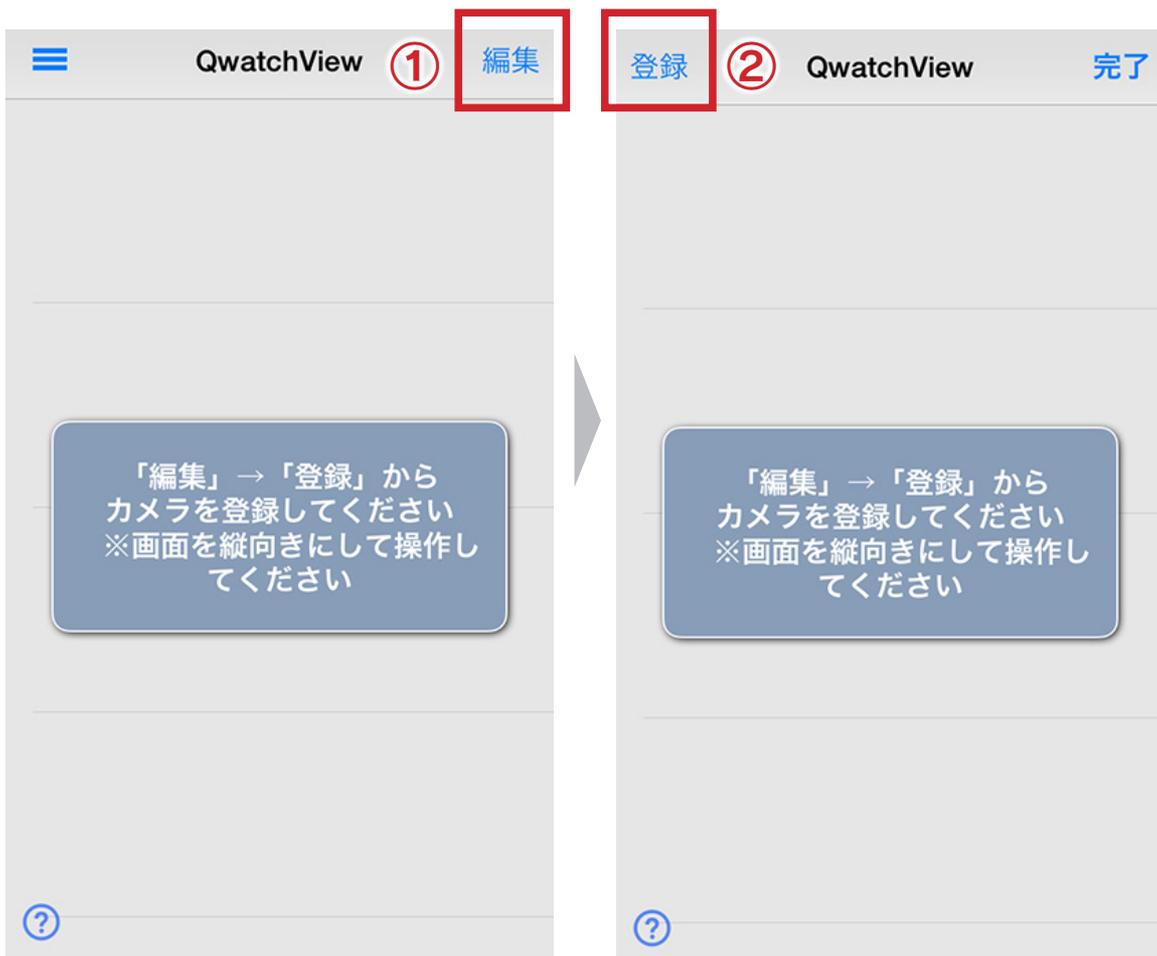
カメラを手動で登録する手順を説明します。

※ 本手順では、カメラのホスト名・IP アドレス・ポート番号等で登録をおこないません。（上級者向け）

※ ご利用のスマートフォン等と同じネットワーク上のカメラを登録する場合は、[「カメラ名を選択して登録」 P.60](#) の手順の方が簡単に登録ができます。

① [編集] をタップ

② [登録] をタップ



③ [手動で登録]をタップ

④ カメラ名等を入力し、[完了]または[追加]をタップ ④ -2

登録 完了

QRコードで登録 >

手動で登録 ③ >

カメラを選択...

CAM- [] []

?

キャンセル 登録 完了

接続モード

モード **自動** 手動

カメラ名 必須

ホスト名 必須

アカウント

ユーザー名 必須

パスワード 必須

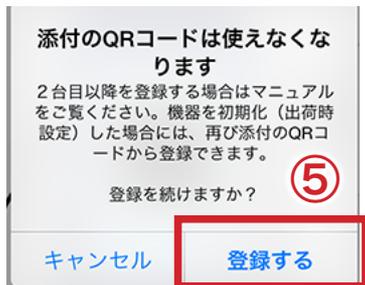
④ -1

?

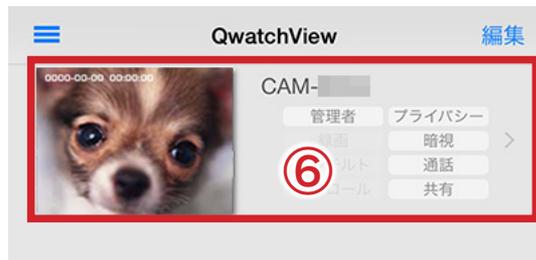
カメラ名	カメラに任意の名前をつけ、入力します。
ホスト名	カメラに添付のシートに記載してあるホスト名の iobb.net の前の部分を入力します。 ※ 「wcam-1234567.iobb.net」の場合、「wcam-1234567」と入力
ユーザー名	[admin]またはカメラで登録しているアカウントのユーザー名を入力します。 [アカウントについて] P.8 参照
パスワード	上記[ユーザー名]に設定しているパスワードを入力します。 ※ ユーザー名が[admin]の場合、出荷時設定はカメラのMACアドレス(12桁)を入力します。カメラ背面のシール上に記載しています。 (大文字、半角英数字で入力)

TS-WRLCで管理者で登録した場合は、管理者パスワードを変更します。その他の場合は、カメラの登録は完了です。

⑤ [登録する]をタップ



⑥ カメラ名をタップ

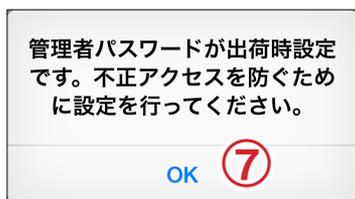


⑦ [OK]をタップ

⑧ 新しい管理者パスワードを入力し、[確認]をタップ

⑨ パスワードを再入力し、[変更]をタップ

※ 半角英数字、1～63文字まで

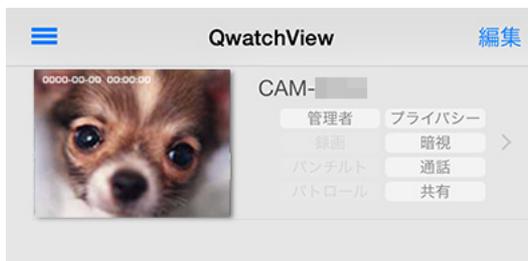


⑧ -2



⑨ -2

⑩ [OK]をタップ



以上でカメラの登録は完了です。カメラ名をタップすると、映像が表示されます。

参考 TS-WRLC 以外の場合は、セキュリティのため、ご利用のアカウントのパスワードを出荷時設定から変更することをおすすめします

パスワードの変更方法は[カメラの「画面で見るマニュアル」](#)をご覧ください。また、パスワードを変更した後、「[カメラの登録内容の変更](#)」[P.64](#) で新しいパスワードに修正してください。

参考 カメラの IP アドレス等を入力して登録する場合

- ① [手動] をタップ
- ② カメラの IP アドレス等を入力
- ③ [完了] または [追加] をタップ

キャンセル 登録 **③** 完了

接続モード

モード 自動 **①** 手動

②

カメラ名	必須
IPアドレス	必須
ポート番号	必須
アカウント	
ユーザー名	必須
パスワード	必須

カメラ名	カメラに任意の名前をつけ、入力します。
IP アドレス	カメラの IP アドレスを入力します。
ポート番号	カメラに添付のシートに記載してある HTTP ポート番号を入力します。 ※ [80] で登録すると、同一ネットワーク上からのみカメラにアクセス可能です。

ユーザー名	[admin] またはカメラで登録しているアカウントのユーザー名を入力します。 (「アカウントについて」 P.8 参照)
パスワード	上記 [ユーザー名] に設定しているパスワードを入力します。 ※ ユーザー名が [admin] の場合、出荷時設定はカメラの MAC アドレス (12 桁) を入力します。カメラ背面のシール上に記載しています。(大文字、半角英数字で入力)

カメラ名を選択して登録

カメラ名を選択して登録する手順を説明します。

※ ご利用のスマートフォン等と同じネットワーク上のカメラを登録する場合は、本手順で登録が可能です。

- ① [編集]をタップ
- ② [登録]をタップ



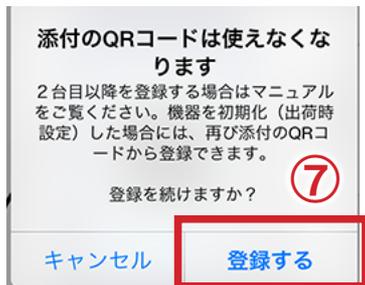
- ③ カメラ名をタップ
- ④ 一行目にユーザー名を入力
- ⑤ 二行目にパスワードを入力
- ⑥ [OK] をタップ



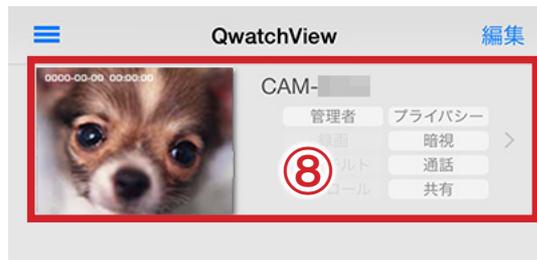
ユーザー名	[admin]またはカメラで登録しているアカウントのユーザー名を入力します。 『アカウントについて』 P.8 参照
パスワード	上記[ユーザー名]に設定しているパスワードを入力します。 ※ ユーザー名が[admin]の場合、出荷時設定はカメラのMACアドレス(12桁)を入力します。カメラ背面のシール上に記載しています。(大文字、半角英数字で入力)

TS-WRLCで管理者で登録した場合は、管理者パスワードを変更します。その他の場合は、カメラの登録は完了です。

⑦ [登録する]をタップ



⑧ カメラ名をタップ

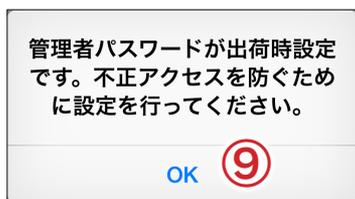


⑨ [OK]をタップ

⑩ 新しい管理者パスワードを入力し、[確認]をタップ

⑪ パスワードを再入力し、[変更]をタップ

※ 半角英数字、1～63文字まで

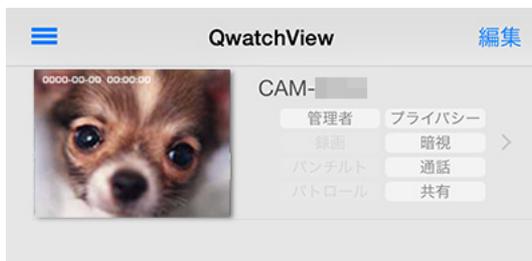


⑩ -2



⑪ -2

⑫ [OK]をタップ



以上でカメラの登録は完了です。カメラ名をタップすると、映像が表示されます。

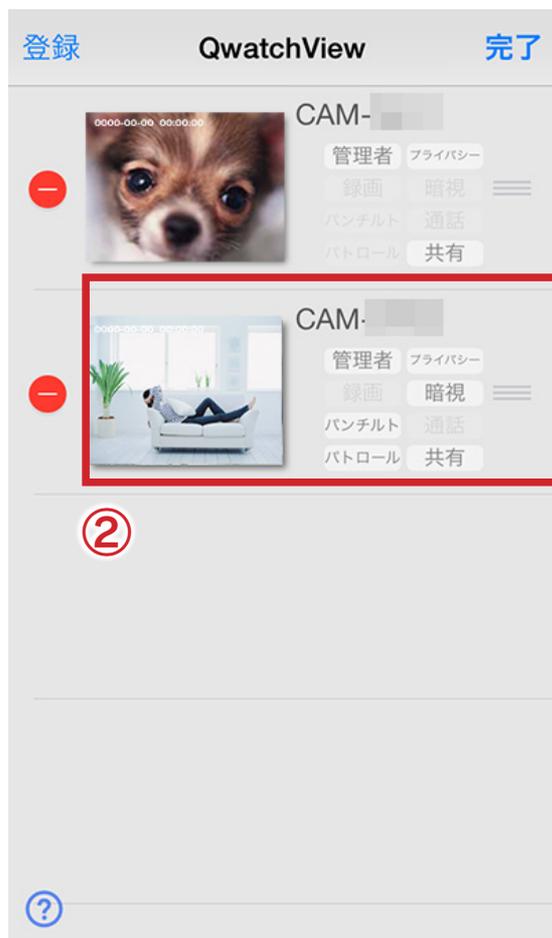
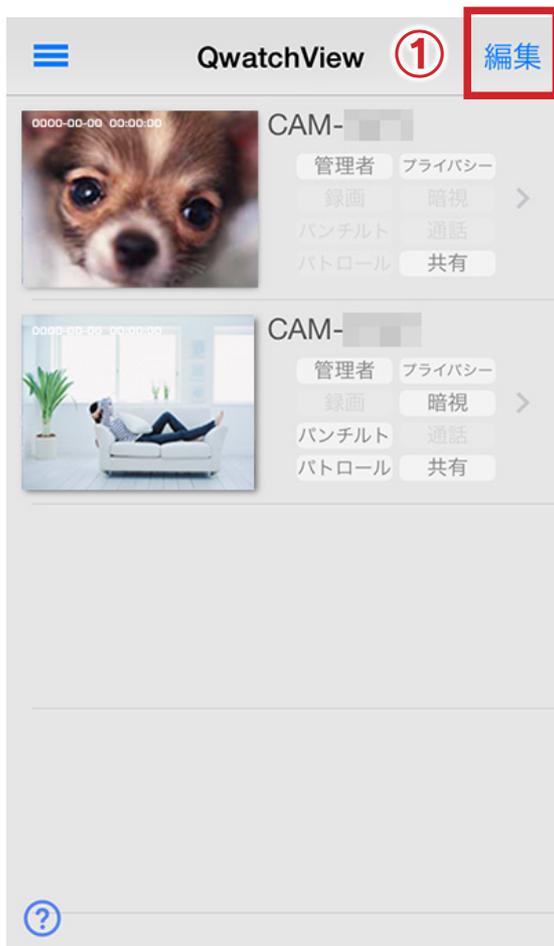
参考 TS-WRLC 以外の場合は、セキュリティーのため、ご利用のアカウントのパスワードを出荷時設定から変更することをおすすめします

パスワードの変更方法は[カメラの「画面で見るマニュアル」](#)をご覧ください。また、パスワードを変更した後、[「カメラの登録内容の変更」P.64](#)で新しいパスワードに修正してください。

カメラの登録内容の変更

登録したカメラの設定を変更する方法を説明します。

- ① [編集]をタップ
- ② 変更するカメラをタップ



- ③ モードをタップ
- ④ 変更したい項目をタップし、修正
- ⑤ [完了] (または[変更]) をタップ
- ⑥ [完了] をタップ



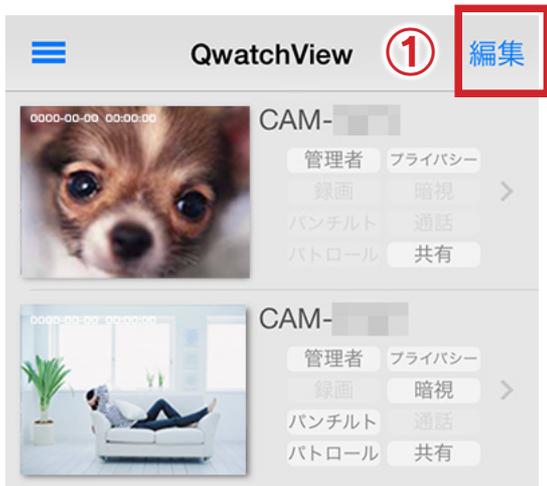
以上でカメラの登録内容の変更は完了です。

カメラの削除

登録したカメラを削除する方法を説明します。

▼ iOSの場合

① [編集]をタップ



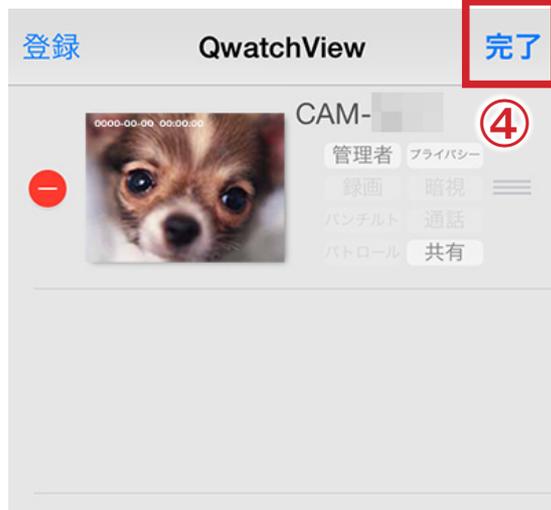
② 変更するカメラのマークをタップ



③ [削除]をタップ



④ [完了]をタップ



以上でカメラの削除は完了です。

▼ Androidの場合

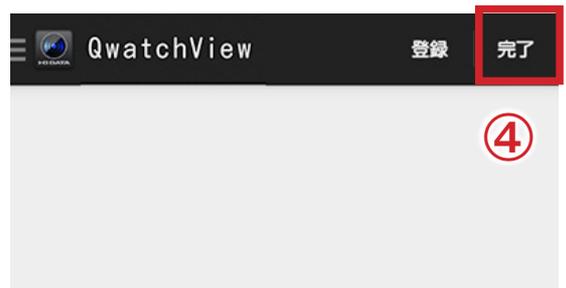
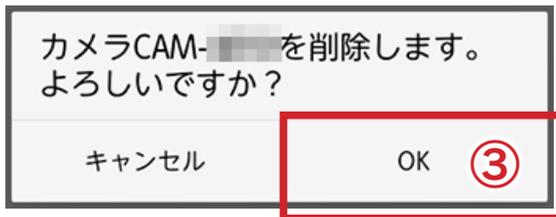
① [編集]をタップ

② 変更するカメラの  マークをタップ



③ [OK]をタップ

④ [完了]をタップ



以上でカメラの削除は完了です。

困ったときには

Q：カメラの映像が表示されない(P.69) >

Q：カメラが登録できない(P.72) >

Q：スマートフォンでカメラの映像表示が遅い(P.73) >

Q：外出先から LAN DISK に保存したファイルが表示されない(P.74) >

Q：「この機能はカメラ…では使用できません」と表示される(P.75) >

Q：「…権限では使用できません」と表示される(P.76) >

Q：動作検知する範囲を設定したい(P.77) >

※ 弊社サポートページの Q&A もあわせてご参照ください。また「QwatchView」およびカメラのファームウェアは常に弊社が提供する最新版にアップデートしてご利用ください。

<http://www.iodata.jp/support/>

Q：カメラの映像が表示されない

対処1

カメラがインターネット接続可能な環境に接続されていることを確認してください。

対処2

ネットワークチェックをおこない、表示された対処をご確認ください。

ネットワークチェックは、[メニュー画面\(P.6\)](#)を開き、[ネットワークチェック]をタップして起動します。

対処3

回線契約しているスマートフォンやタブレットの場合は、4G LTE に切り替えてご確認ください。

※ パケット通信料はお客様のご負担となります。携帯電話会社が提供するパケット定額サービスへの加入をおすすめします。

対処4

カメラを接続したネットワーク環境でルーターが2重になっている場合は、外部からカメラにアクセスができない場合があります。

例えば、インターネット回線のモデムにルーター機能があり、さらにブロードバンドルーターを接続している場合は、ルーター機能が2重になっていることがあります。どちらか一方のルーター機能を無効にしてご確認ください。

Q: カメラの映像が表示されない (つづき)

対処5

ご利用のルーターが UPnP 機能に対応しており、また UPnP が有効に設定されているかどうかをご確認ください。

それでもカメラにアクセスできない場合は、ルーター側で手動でポート開放設定をおこないアクセスできるかどうか、ご確認ください。

ポートの開放について詳しくは、ルーターの取扱説明書またはメーカー様にてご確認ください。

※ ルーターのポート開放にはカメラのポート番号と IP アドレスの情報が必要です。HTTP ポートと RTSP ポートを開放する必要があります。(カメラ [TS-WLCAM] の場合は、HTTP ポートのみを開放します。)

● ポート番号

① HTTP ポートの番号

カメラに添付のシートの「ポート番号」を確認します。

または、カメラの設定画面を開き、ネットワーク設定画面を確認します。

(基本設定 - ネットワークで HTTP ポート番号を確認)

② RTSP ポートの番号

カメラの設定画面を開き、RTSP 設定画面を確認します。

(基本設定 - RTSP 設定で RTSP ポートを確認)

● IP アドレス

カメラの設定画面を開き、ネットワーク設定画面を確認します。

(基本設定 - ネットワークで IP アドレスを確認)

Q: カメラの映像が表示されない (つづき)

対処6

カメラの設定画面で以下の設定を変更した場合は、QwatchViewにてカメラの登録内容の変更 (P.64)をおこなってください。

- ・ iobb.net のホスト名、ユーザー名、パスワードを変更した場合
- ・ iobb.net を利用していない場合で、IP アドレス、ポート番号、ユーザー名、パスワードを変更した場合

対処7

カメラの視聴期間を過ぎると「視聴制限中」のメッセージを表示します。再度カメラを登録するにはカメラの管理者に QR コードの発行を問い合わせてください。

対処8

以下のいずれかの場合、ご契約のインターネット接続サービスで、インターネットにカメラを公開することが可能かどうかをご確認ください。インターネットにカメラを公開できないサービスの場合には、カメラと同じネットワーク内でのみご使用いただくか、カメラを公開可能なインターネット回線の設置をおこなってください。

- ・ マンションなどの標準の回線でインターネット接続している
- ・ モバイルルーター、WiMAX ルーターを使用

Q：カメラが登録できない

対処1

「カメラを登録できませんでした。この QR コードは無効です。…」と表示された場合、読み取りした QR コードは使用できません。

管理者権限のアカウントでログインする場合は、[「手で登録」 P.56](#) または [「カメラ名を選択して登録」 P.60](#) の方法で登録してください。

ユーザー権限のアカウントでログインする場合は、[「共有」 P.36](#) の方法で登録してください。

対処2

「カメラを登録できませんでした。カメラへの接続に失敗しました。」と表示された場合は以下を確認してください。

- ① ご利用のルーターがインターネットに接続されていることを確認してください。
- ② カメラに添付のマニュアルを参照し、カメラがインターネットに接続されていることを確認してください。

それでもカメラを登録できない場合は、カメラの電源を抜き差しし、再起動してください。

またそれでもカメラを登録できない場合は、カメラを初期化してください。

Q：スマートフォンでカメラの映像表示が遅い

お使いのスマートフォンによっては、高画質設定にすると、カメラの映像表示が遅くなる場合があります。主にスマートフォンを使用する場合は、カメラの設定画面の「ビデオ - 映像設定」画面にて、以下の設定に変更してお試してください。

解像度：QVGA

画質：普通

最大フレームレート：15

Q：外出先から LAN DISK に保存したファイルが表示されない

外出先からは LAN DISK に保存したファイルを表示 / 再生することはできません。

SD カードに保存したファイルは外出先からでも表示 / 再生することができます。

Q：「この機能はカメラ…では使用できません」と表示される

ご利用のカメラに対応していない機能のため使用できません。各カメラの対応機能については「[▼カメラ別 QwatchView 対応機能](#)」 P.10 をご覧ください。

Q：「…権限では使用できません」と表示される

現在ログインしているアカウントのユーザー権限ではご利用いただけません。ユーザーおよびゲスト権限のアカウントでは使用に制限があります。

[「▼カメラ別 QwatchView 対応機能」 P.10](#) で各機能の使用制限をご確認ください。

Q：動作検知する範囲を設定したい

QwatchView では動作検知する範囲を設定できません。パソコンからカメラの設定画面を開き、設定してください。詳しくはカメラの「画面で見るマニュアル」をご覧ください。

※ カメラの「画面で見るマニュアル」は、以下の URL よりカメラを選択し、開きます。

<http://www.iodata.jp/product/mobile/lancam/>